



役場職員で結成した「ふるさと納税キャラバン隊」は、6月から7月にかけて首都圏の街頭でPR作戦を決行。道行く人に積極的に声をかける

「ふるさと納税3万円で 阿南米60kgを進呈します」が

大 人気

文=松澤 享 (長野県阿南町役場振興課長)



愛知県との境に位置する人口5176人の町。南アルプスと中央アルプスに挟まれた山間部には美しい棚田が広がる

**4カ月で5500万円が
集まった**

今年5月8日の記者会見で、佐々木暢生町長が「ふるさと納税3万円で阿南米60kgを進呈します」と発表して以降、役場には毎日のように寄付金の申し込みが殺到しています。

9月5日現在で2517件、納入された寄付金は総額5553万円にのびりました。その半分くらいは東京都や神奈川県、千葉県など関東の都市部ですが、北は北海道から南は沖縄まで全国各地から寄付金が寄せられています。

2008年にふるさと納税制度が始まって以来、過去5年間の寄付金の累計が568件、1532万円であったことを考えると、今年の「3万円で阿南産米60kgを進呈」の効果は絶大であったといえます。

納付書のメッセージ欄には「国のTPP交渉参加のなかで、地元農家を支援する阿南町の制度に賛同します。がんばって農業支援を